

【コラム5】 〈中山間地域内の高等学校と地域との連携〉

中山間地域には高等学校が3校あります。第3次浜松市中山間地域振興計画の作成にあたり、地域で学ぶ生徒の声を把握するため、ワークショップや意見交換会を開催しました。ここでは、彼らがそれぞれの学校で、地域のことを考えて取り組む活動をご紹介します。

〈天竜高等学校 二俣校舎〉

「地域の竜になる」ことを目指し、学校をあげて地域との連携を進めています。

特に、生徒たちが地域の人と地域のことを考える団体として、生徒有志により設立された「天竜Lab. (天竜ラボ)」は、地域の井戸端会議として「天竜区の未来を考える若者会議」の運営や郷土食及び伝統文化の体験活動、地元の鹿肉やしいたけを使った天竜おにぎりの販売、天竜区の店舗をモチーフにした天竜ガチャの開発など、中高生の関係人口を増やし「にぎやかな過疎」づくりに主体的かつ積極的に取り組んでいます。

〈天竜高等学校 春野校舎〉

総合的な探究の時間や課題研究の授業では、地域活性化に関する活動を実践しています。地域の歴史や産業、魅力、課題等を幅広く知るとともに、特に、秋葉神社にまつわる学習や春野地区を支える林業や茶業等について学びを深めています。

2024 (令和6) 年度は、地域の名産品を使用したおにぎりの商品開発について二俣校舎、佐久間分校とともに取り組み、天竜・春野地区のさらなる魅力の発信に力を入れています。

〈浜松湖北高等学校 佐久間分校〉

地域や行政・大学と連携した学校設定教科「地域」では、地域の歴史や文化、産業等を学ぶとともに、地域が抱える課題への解決策を考案、実践、発信しています。

授業の一環として、胡麻やグラニュー糖等を原材料とした地元のお菓子「ごまちゃん」にアレンジを加えたレシピの考案や、地元高校生の目線をいかした地域を紹介するトレーディングカードを制作し、地域のプロモーションをしています。



開発に携わった天竜ガチャ
(天竜高等学校 二俣校舎)



総合的な探究の時間の授業風景
(天竜高等学校 春野校舎)



「ごまちゃん」の試作風景
(浜松湖北高等学校 佐久間分校)